

長岡京まちづくり通信 第2号

～ともに創ろう！輝くまちへ～

(長岡京市総合計画審議会委員)

発行責任者：炭 崎 勉

長岡天神駅周辺まちづくりへの期待
(鉄道高架化と駅前広場の整備)

阪急長岡天神駅周辺の将来イメージ図
(図はすべて「阪急長岡天神駅周辺整備基本計画」より)



西側のイメージ図



東側のイメージ図

1時間のうち最大37分間

これは、長岡天神駅の踏切が締まっている時間です。1時間に40分を超えると「開かずの踏切」と呼ばれるそうですが、その一步手前です。

当然ながら車は渋滞し、歩行者や自転車も溜まるため、踏切が開いたときには、車や自転車、歩行者が一斉に渡ることになり、なかなか危険な状態にあります。特に雨の日は、送迎の車も増えるため渋滞が長くなる傾向にあります。

一方通行化の交通社会実験

アゼリア通りと天神通りを一方通行化し、広い歩道や自転車が安全に走行できる路肩を設置する試みが、今から15年前の平成22年10月に4日間実施されました。

実験期間中、車線が減ったことで想定を超える渋滞が発生する大変な状況に陥りました。

鉄道高架化と駅前広場の整備に向けて

やはり一方通行化しても渋滞は解消しないことが明らかになり、線路を高架化して踏切をなくすほかはないというのが今の状況です。

高架化の工事のため、線路を一旦東側に振る仮線方式が検討され、先行して駅東側の用地買収が進められているところです。

この事業に国の補助制度を活用するには、長岡京市単独では要件に合致しないため、京都府が事業主体になる必要があります。また、一体の地権者の合意形成も欠かせません。

その実現には、相当の年数が見込まれますが、周辺住民はもちろんのこと、市民全体にとってプラスとなるようにまちづくりの機運を高めていこうではありませんか。

※フェイスブックで京都新聞の関連記事をシェアしています。参考にしてください。

ごあいさつ

愛着のあるこの長岡京市をより一層輝くまちへと育てるため、京都市役所での行政経験と1級建築士としての専門性を活かして、私なりの取組みを始めたいと考えています。子どもから高齢者まで様々な世代を通して、市民が主役のまちづくりを進められるよう縁の下の力持ちでありたいと願います。

プロフィール

横浜国立大学卒業、同大学院修了(都市計画研究室)
元京都市中京区副区長、京都市東京事務所次長ほか
1級建築士、マンション管理士、応急危険度判定士
長岡京市今里西ノ口2-8 ☎075-952-1000

SNSは
コチラ!